

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目	国語
記 号	A
出版社名	東京書籍

選定理由

- QR コンテンツを増やしたことで総ページ数を削減し（約 40 ページ）、コンパクトで扱いやすくなっている。
- 1年生はフォントが大きく、見やすい。また、イラストが増え、これまでの2段構成が小説教材で1段構成になり、視覚的に読みやすくなっている。
- 「話す・聞く」領域では、「学習の流れ」を、動画で確認しながら見通しを持ち、個別のつまずきに応じて支援するQRコンテンツが示されている。（1年 p.174、178）
- 「書く」領域では、食文化や地域の魅力（2年 p.68）など、身近で取り組みやすい題材を用いている。また、お手本の文章で学ばせ、手立てを具体的、視覚的に学習しやすいようにしてある。
- 「読む」領域ではてびきで学習の流れを段階的に詳しく解説しており、学習の進め方や方法が分かりやすい。（1年 p.108）
- 「読書への招待」や「読書案内」や「読書活動」の充実が図られるなど、生徒の豊かな読書生活を支援する工夫がされている。読書活動（1年「本のポップ」（p.188）、2年「ビブリオバトル」（p.182）、3年「私のベストブック」（p.186））
- 教材の冒頭に示す目標を生徒目線の問いかけの形にするなど、生徒にとって身に付けたい力や着目すべき点が分かりやすい工夫がされている。（1年 p.16）
- 巻末デジタルコンテンツ一覧から、家庭での予習や復習に使えるコンテンツにアクセスできるようになっている。
- 色褪せない名作、感性を豊かにすること等をテーマにした新教材（「未来を考えるための9つのテーマ」）が魅力的である。（1年 p.227）

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 書写

記 号 I

出版社名 光村図書

選定理由

- 毛筆書写教材が豊富で、半紙原寸大の手本が多く使いやすい。
- 書写ブックは取り外して使用でき、紙質も練習させるのに適している。
- 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という展開が一目でわかるよう簡潔で見通しが持ちやすい。
- 「学びのカギ」によって学習内容を振り返りやすい。
- 「日常に役立つ書式」によって教科横断的な学習が可能である。
- 多様性への配慮がされている。（色覚特性、利き手、キャラクターの服装など）
- 動画等の2次元コードのコンテンツが充実しており、生徒の主体的な学びを支えることができる。
- タブレットを使った学習の方法の紹介があり、新しい文具を活用している。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 社会（地理）

記 号 J

出版社名 帝国書院

選定理由

- 「世界と日本の地域構成」は8時間、「世界とのさまざまな地域」は41時間、「日本のさまざまな地域」は56時間、「地域のあり方」に5時間の配當時数となっている。特に「日本の諸地域」の内容が非常に詳しく記述しており、より詳細に学習することができる。
- 写真や地図やグラフ等の資料が多く記載され、詳しく学習できる構成になっている。写真や地図も大きく、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。
- 巻頭の「教科書を活用した学び方」では、主体的な学びや対話的な学びについてわかりやすく説明されている。
- 「日本の領域と特色」の学習では、竹島について本文記載があり、写真や地図が掲載されている。さらに、2月22日が竹島の日であることや昔の竹島の漁業についても記述されている。
- 「技能をみがく」の内容が多く記載され、資料の読み取り方や地形図の使い方等、基礎的な技能を身につけることができるよう工夫されている。
- 巻頭の「教科書を活用した学び方」では、QRコンテンツについてわかりやすく説明し、家庭学習に活用できるよう工夫されている。また、内容も充実しており、授業で活用しやすい構成になっている。
- 単元末の「学習を振り返ろう」では、知識を確かめ、段階を踏みながら、地理的な見方・考え方を働かせて学習をまとめることができるよう工夫されている。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 社会（歴史）

記 号 A

出版社名 東京書籍

選定理由

- 1 QR コンテンツが豊富で、効果的に配置され、生徒が主体的に学び、資質・能力を高めることができる。
 - ・個別最適な学びや協働的な学びを意識し、導入、展開、まとめの学習段階に応じた QR コンテンツが配置されている。
 - ・生徒は生徒端末を使って QR コンテンツを読み込んでワークシートを取り出し、資料から読み取ったことや学習のまとめを記入することができ、主体的に学習に取り組むことができる。家庭でも学習することができる。
 - ・教科書の構成において、どの単元も課題解決学習の流れ（課題の設定→探究活動→課題解決）が一本化されており、生徒が見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。
 - ・思考ツールが豊富にあり、生徒は学習した内容を整理したり、考察したりしやすくなっている。
- 2 島根県に関連する資料や事象が掲載され、島根県への理解と親しみが深まる。
 - ・出雲神話、石見銀山、竹島の歴史、森鷗外
- 3 同和問題学習について、各時代で適切に扱われている。
 - ・「解放令」から水平社への内容（p. 240～241）は、特に詳しい内容となっている。
- 4 生徒の多様性に配慮されている。
 - ・カラーユニバーサルデザインの導入、UD フォントの導入など

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 社会（公民）

記 号 J

出版社名 帝国書院

選定理由

1. QRコードの利用

QRコードでアクセスできるページが便利で、タブレットを使った学習が行いやすい。QRコードにアクセスすることで、多くの思考ツールについての動画を閲覧することができ、それぞれのPDFも活用することができる。

2. 本文表記及びレイアウト

写真資料が大きく、本文の内容表現も平易で教科書の内容を理解しやすい。資料と本文の配置に工夫があり、視認性が高い。図説などが非常にわかりやすく、視覚教材も生徒が分かりやすいよう工夫されている。

3. 他分野との関連

小学校、歴史、地理の既習事項が章の初め、見開きの下部に記載され、関連付けしやすい工夫がなされている。「地図帳活用」のアイコンが準備され地図帳活用がはかれるようになっている。

4. 学習の流れ

単元の冒頭で見やすいイラストや写真を用いて、単元を貫く問いを設定し、章末の「学習を振りかえろう」で単元を貫く問いを思考ツールなどを用いて、わかりやすくまとめることができるようになっている。また、掲載資料の活用の視点を示すことで、学習がしやすくなっている。

5. 家庭学習

章末のまとめページが図を用いて簡潔に取り組むことができる。発展的な学習や各章ごとに探求課題を設定するページも見やすくわかりやすいため、生徒が学習に取り組みやすい。

6. 興味・関心

「公民プラス」のコラムで、最近の話題が多く記載されており、生徒が興味・関心を持ちやすい。「アクティブ公民」でシミュレーション型の課題を設定することで、社会参画を疑似体験できるよう工夫されている。

7. 地域課題

竹島については、本文にてふれてあるが、QRコードの他分野リンクを利用することによって、歴史教科書の記述を確認し、竹島問題について学ぶことができるよう工夫されている。また、「地図帳活用」のアイコンで竹島の位置を詳しく確認できる。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 社会（地図）

記 号 J

出版社名 帝国書院

選定理由

- 文字、色のバランスや背景などが見やすい。土地の起伏や高低が微妙に違う色分けで表現されている。（色見が薄い）
- 地図帳の使い方が最初に丁寧に詳しく説明されている。小学校での既習事項を確認する項目もあり、スムーズに中学校の学習へ進められる。
- 土地利用や地図記号などが各ページに記載されており、使いやすい。
- 日本の対蹠点や日本の同緯度の位置を示すなど、思考力を高め、位置関係を理解しやすい。
- もくじに SDGs や歴史公民の分野で活用できるページが記載されており、見通しをもって他分野と関連付けた授業ができる。
- 歴史的な視点からも各地域の特色を見られるように、その地域の歴史に関する資料や地図中にも歴史的イベントが起きた場所、船の航路などが掲載されている。（p. 89、93）
- 平面の地図だけではイメージしにくいのが、鳥瞰図と並べて記載されていることで、立体的に地形や位置を視覚的に読み取りやすい。（p. 29～30、47、65～66）
- 「地図で発見」にチェック項目があり、学習内容も確認とともに、生徒が達成感を持つことができる。
- 「地図で発見」は比較的読み取りやすいものや、自分の生活に根差した問いが多いので、授業の導入に利用しやすく、主体的な学習を促す（宿題にして導入で聞くとよい）。
- 個人でも取り組めるものとグループで調べ学習できる課題とがあり、授業後半の発展的な学習にも応用できる。
- 資料を使って追究できる課題が設定されており、現状や原因、取り組みなどが紹介されているため、調べ学習や協調学習などに取り組みやすい。（p. 9～10）
- 台風や発生する仕組みや地震のメカニズムがイラストで示されているためイメージしやすく、他教科の既習事項を振り返りながら関連付けて学習を進めることができる。
- 写真やイラストを使って、日本の各地域で起こりうる（起きた）災害の被害やその対策を詳しく紹介しており、防災学習の充実を図れる。
- QR コンテンツ中の「NHK for school」とリンクした動画を使用して、振り返りやまとめに取り組みさせることができる。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目	数学
記 号	A
出版社名	東京書籍

選定理由

- 「大切にしたい数学の学び方」や「この本の構成と使い方」では、生徒が見通しをもち、主体的に学習できるように教科書の使い方が丁寧に記載されている。（1年巻頭-p.10）
- 章末の問題はA、Bの2段階で構成されている。また、本文の練習問題等は生徒の主体性に合わせて問題量を追加し、個別最適な学びにも対応できるよう配慮されている。（2年 p.52～56）
- 章や節の最初に、これからの学習と関連した日常の課題が示され、解決の見通しをもたせ、章や節の学習につながるよう配慮されている。（3年 p.69、85）
- 学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習や、円滑な指導が行えるよう内容の配列が工夫されている。（1年 p.11～18）
- 「数学のまど」「数学×仕事」では、身の回りの具体物の写真を使い、数学と日常生活が関連付けられ、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。（2年 p.89～91）
- 仕事の中で数学を活用している人を紹介し、生徒が数学を用いた日常の問題解決を体験できるよう工夫されている。（3年p.122～123）
- 「活用の問題」「数学の自由研究」などでは、身の回りの題材を取り上げ、数学の必要性や有用性が実感できるような工夫がされている。（2年 p.6、94、233）
- 「もっと数学をつなげよう」には、「学びのベース/学びのマップ」「ふり返し/補充の問題」が設けられ、生徒一人ひとりに合わせた学習が展開できるように配慮されている。（1年 p.249～307）
- 授業を想定したQRコンテンツが多数掲載（1,752種類）されており、「授業」や「自学自習」に活用できる。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目	理科
記 号	A
出版社名	東京書籍

選定理由

- 各ページ下にある、学びのフローチャートを確認することにより全体の中で、今どの活動を行っているか確認できるようになっている。
- 必要な場面で、実験、観察結果をまとめる方法(レポート、グラフなど)も示されている。
- 各章のはじめには、章を貫く問い Before&After があり、生徒が学習で学んだことを実感できる構成になっている。
- QR コンテンツが豊富である。(実験の手順、ワークシート、資料動画など)
- イラストや写真が大きくなり、視覚的にわかりやすいレイアウトになっている。
- 「じっくり探究」が設定しており、探究のしかたを意識して学習できる。
- 章末にある「学びを生活や社会に広げよう」では、学習した内容と身のまわりの事象と結びつけて考えることができる。
- 学習事項が日常生活とどのように関連し、利用されているのか「まちなか科学」として紹介されている。
- 章内の例題・問題から章末の活用問題までステップアップしながら学力向上を目指している。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 音楽

記 号 H

出版社名 教育芸術社

選定理由

【音楽】

- 話し合い活動を通じて学びを深めていく場が多く設けられている。
(1年 p. 26～27 ほか)
- 「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」では、楽しみながら楽譜の理解に繋げるための工夫がされていることに加え、創作活動への導入をスムーズにしている。(1年 p. 16～17)
- 歌唱共通教材では、登場する写真やレイアウトが美しく、内容の理解を深めたり、情景のイメージを膨らませたりするために役立っている。(2・3年上 p. 18～19 ほか)
- QRコード（学習に役立つコンテンツがウェブサイトにある）。発展的学習や家庭学習ができる。
- ページの構成、色の使い方、アイコンなどのバランスが整っており、見やすい。

【器楽】

- 曲の難易度が易しく、スモールステップで学習できる。
- リコーダー二重奏の副旋律が音楽的で、主旋律とのアンサンブルをより楽しむことができる。(p. 24 ほか)
- 基本的な奏法のレイアウトが工夫されている。特に、箏の奏法において、親指を左側、中指・人さし指を右側にしている配置が効率的で、見やすい。(p. 37)
- リコーダーの運指のイラストがシンプルかつ本物に近づけられており、分かりやすい。
- ギターの種類と比較や、箏のいろいろな奏法が一つのページにまとめられており、過不足ない説明となっている。(p. 27、41)
- 創作へのつながりがスムーズで、発展的な学習ができる。(p. 43)

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目	美術
記 号	I
出版社名	光村図書

選定理由

○美術科で学ばせたいことが明確

中学校の3年間で学ばせたいことや重視したいことが、大きく取り上げられており、生徒にとっても伝わりやすく訴える力が強くなるように工夫されている。1年生では基礎・基本を重視し、2・3年生では歴史や社会との関係に視野を広げる等、生徒の発達段階に配慮した構成になっている。

○発想・構想を支えるページの充実

一題材を、参考作品の鑑賞、表現（発想・構想）、関連作品の鑑賞の順に構成し、学習の過程が工夫されている。「POINT」で造形的な視点を示すことで、生徒が共通事項の視点から制作に取り組むことができるように工夫されている。また、表現において「みんなの工夫」として全国の中学生の発想・構想が作者の言葉と写真で掲載されており、多様な考え方に触れたり、発展的な学習につなげたりすることができる構成になっている。

○動画資料の質の高さ

表現のページでは、制作面で発想・構想を支えることができるようにQRコード「作者のインタビュー動画」や「全国の中学生の作品」が充実している。また、鑑賞中心の題材では5分程度の「解説動画」や「音声ナビ」、「書き込みツール」などによって、生徒が体感しながら深く鑑賞できるように工夫されている。

○レイアウトの工夫

3年間使用できるコンパクトな別冊資料に知識・技能をまとめることで、利便性を高めている。日本絵画の鑑賞のポイントを整理した和紙のページを設け、日本文化や海外の文化との関連についての学習が深まるよう工夫されている。また、中学校で特に学ばせたい、国内外の代表的な作品や作家については、特集ページを設け見開きや大判で掲載したり、美術用語についても大きなフォントで強調したりするなどのレイアウトの工夫がされている。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 保健体育

記 号 P

出版社名 Gakken

選定理由

- 効果的な導入から、課題の解決につなげ、最終的には学習の理解度や進度、取り組みの度合いを確かめるものとなっている。
- UD フォントを利用していることや色合いやイラストが見やすく作られている。
- 文章が分かりやすくコンパクトにまとめられている。また、それを補うようにイラスト、表、解説が各ページ右に配置されており、教科書を読むことで理解が深まる構成になっている。
- 写真ではなく、意図的にイラストを多く採用していると思われる。それは、写真だと生徒によっては不快感を感じる生徒がいるかもしれないという配慮だと思われる。
- ギガスクール構想に即したデジタル教材が充実しており、授業者が生徒の理解を深められる内容となっている。資料として動画やCGがあり、これらをQRコードですぐ読み取り、確認することができる。
- これからの学びの変化に対応し、デジタル教材を充実させている。一方で、教科書を読んで理解していくことも大切だと考え、デジタル教材で視覚的、体験的に学びつつも、教科書を見て、読んでじっくり思考を巡らせていくことも大切だと考えていると思われる。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 技術・家庭（技術分野）

記 号 A

出版社名 東京書籍

選定理由

- 巻頭に、技術分野の学習のながれ、技術の見方・考え方、安全な作業、デジタルコンテンツや思考ツールの活用について簡潔に示してあるので、教科の特性を理解しやすい。
- ガイダンスでは、技術の見方・考え方を働かせて問題解決に取り組むことが示されているので、教科のねらいを理解しやすい。
- 基礎技能を確認できる「Tech Lab」が問題解決学習の前に示してあるので、製作・制作や作業等に取り組みやすい。特に内容 A の「Tech Lab」において、該当する材料をアイコンとして示しているので、どの加工方法で行えばよいのかわかりやすい。
- 無料で利用できる動画や思考ツール等の QR コンテンツが豊富に準備してあるので、興味・関心を高めやすい。特に内容 C「電気回路のシミュレーション」では、安全に配慮しながら思考を深める一助となっている。
- SDGs、STEAM、Society5.0 等、技術分野の学習と結びつきが深いキーワードを取り上げているので、学習指導要領で求められている持続可能な社会の作り手になることを意識しやすい。
- 掲載されている情報量が適切で、免許外授業担当者にも理解しやすく、学習指導要領に基づいた指導を行いやすい。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目 技術・家庭（家庭分野）

記 号 A

出版社名 東京書籍

選定理由

- 多様性に配慮して、教師・生徒が使用しやすいデザインになっている。（カラーユニバーサルデザイン・ルビが多く振ってある）
- 教科書全体の構成が生徒の発達段階や興味関心を踏まえて配列されている。（ガイダンス→Aの一部→B→C→A の流れ）
- 質の高いQRコンテンツを豊富に取り入れている。
- 導入の課題提示が生活に即している。
- 実習に関する資料の情報が多く掲載されている。
- 生徒の意欲を引き出す写真や資料が随所に掲載されている。
- 基礎技能の定着のための写真やイラスト、QRコンテンツが充実している。
- 「生活に生かそう」では家庭学習につなげられるように課題を提示している。実践レポートの具体例が多く取り上げられており、生徒が家庭で学習しやすい構成になっている。
- 共生への配慮やSDGsに関する内容も豊富に取り入れられている。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目	英語
記 号	A
出版社名	東京書籍

選定理由

- 各 Unit の始めに「GOAL」が明示されており、Unit の終わりには「CHECK」で目標に対する振り返りを行うことができる。
- 1年1学期の各 Unit に Sounds and Letters を掲載し、小学校で学習した単語を用いて「音と文字」のルールを学び、定着させるとともに、自分の力で読み書きのできるコツを身に付けることができるよう工夫されている。
- 1年生の Unit5 から Read and Think が加わり、まとまった分量の英文を読む力や考える力、表現する力がつくことをねらいとしている。また2,3年では Read and Think の本文について「Round①概要・大意をつかむ」、「Round②詳細をおさえる」、「Round③表現につなげる」の3段階の読み方で英文を読む力の育成を図るよう工夫されている。
- Unit で学習してきたことを統合した言語活動として Stage Activity があり、カナダからのビデオレターの内容をふまえて、相手意識をもって発信活動をおこなうことができる。また、多様な文化や価値観への気づきを促す「ダイバーシティメモ」がある。
- 各学年の巻末に「Expressions List」があり、Small Talk をする際に有効な表現を練習することができる。
- QR コンテンツには用例辞典、思考ツール、Activity Sheet、デジタルマップなどがあり、表現活動をサポートしている。また本文の音声や映像などの複数のデジタル教材があり、学校や家庭で音声を活用した学習を行うことができる。
- 食物連鎖やロボット、SDGs など、他教科と関連づけて学習を深められるような内容の工夫がある。また、異文化理解や人権、平和への取り組みなど、道徳との関連が深い題材が取り上げられている。

教科用図書選定の理由（令和7年度使用中学校用教科用図書）

種 目	道徳
記 号	A
出版社名	東京書籍

選定理由

- 付録を含めて35時間以上の教材が記載されている。小学校教材も記載されている。
- 定番教材が、よりイメージしやすい挿絵とともに復活している。
- 紙面と動画が関連した教材があり、文章を読むことに困難さがある生徒も授業に参加しやすい。
- 読み物資料だけでなく、グラフから課題を見つけるなど、さまざまな学び方が可能となっている。
- 全学年で、いじめや生命に加え、情報モラルやSDGs、多様性について考えるユニットがあり、それぞれ重点的に学習できるようになっている。
- 全学年で、新たに「防災道徳」の内容をとりあげている。
- 生徒が親しみやすい著名人が題材にされている。
- イラストや漫画が多く、生徒が関心をもちやすいように工夫されている。
- 内容が複雑な教材には、四コマ漫画が収録されているなど、理解を助ける手立てがある。
- 全ての教材にQRコードが教材に記載されており、これまで以上に学びが広がる工夫がされている。
- 全学年「プラス」が掲載されており、さまざまなタイミングで活用をすることができる。
- 各教材の最後に「考えよう」「自分を見つめよう」が設定されており、教材の内容と実生活の両面から深く考えられるように工夫されている。
- 「心情円」が巻末に付録としてついており、言葉で気持ちを伝えることが難しい生徒にも、自分の考えを表現できる機会が設定されている。